

生活科 2年1組 金丸学級 授業日:2026年2月16日

「765だいすきたんけんたい」

低学年分科会の目指す児童像

仲六郷地域について調べたことをまとめ、自分の言葉で表現できる子

研究主題や目指す児童像にせまるための手立て

実際に見たり聞いたりし、表現したいという気持ちをもたせる。

(1) 実社会で活躍する人や施設との連携

コウゲツ、丸美食品、ベーカリーホーム、花の店いぐち、JIKKA、まつの青果との連携に行き、インタビューの機会を設ける。

(2) 表現活動の工夫

今までの生活科の学習を生かし、劇、新聞づくり、クイズづくりなど児童に選択させる。

(3) ICT等の活用

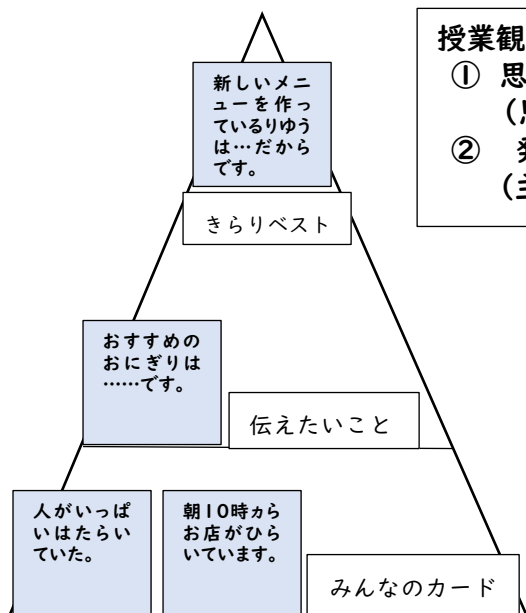
オクリンプラスでの振り返りの共有、児童の意見の集約、動画での振り返り。

連携先(授業パートナー)

- ・コウゲツ
- ・丸美食品
- ・ベーカリーホーム
- ・花の店いぐち
- ・JIKKA
- ・まつの青果

授業観察の視点

- ① 思考ツールを用いた話し合い活動が気付きを深めるために有効であったか。(思考・判断・表現)
- ② 発表方法を選ばせることが、主体的に学習に取り組むために有効であったか。(主体的・協働的な学びの工夫)



協議会より

- ・思考ツールは他にも使っているのか。(高学年)
→生活科では、初めてピラミッドチャートを使用した。インタビューをして見つけたものを話し合うときに、その過程を見える化するために、有効だと考えた。
- ・今日ベスト3を決めさせた理由は何か。(中学年)
→たくさんインタビューをして気付いたものから、みんなに伝える価値があるものを選ばせたかった。決める話し合いをすることで、他のカードと比べ

成果と課題

成果

- ① 思考ツールを使って話し合いをすることで、グループできりりベスト3を決めることができた。
- ② グループで調べたことをもとに掲示物や劇を作成する活動を通して、情報を整理したりまとめたりする能力を伸ばすことができた。
- ③ ICTの活用を設けたことで、児童の意見の集約、インタビュー動画を繰り返し見返すことで、発表準備に生かすことができた。

課題

- ① きりりベスト3の選定理由の深堀不足だった。こどもが気付いていないことには教師の問いかけが必要。
- ② 地域教材を選定していく目を教師が育てていく必要がある。今後、「知的な気付き」につながりそうな店を開拓していくことが求められる。

《学習の様子》

めあて 765 (仲六郷地域) のすてきなところをたくさん見つけて、みんなに知らせる
たんけんたいになろう。

じぶんの地域について知っていることを伝えよう

町探検①
地域巡りをしよう

もっと調べたいことを考えよう

町探検②
コウゲツ
ベーカリーホーム
まつの青果
JIKKA
いぐち
丸美食品

みんなに知らせたいベストキラリ3を決めよう。

765自まん大会の準備をしよう。

765自まん大会で発表しよう。

商店街のパン屋さんで買い物をしたことがあるよ。

八百屋さんやお惣菜屋さんに行ったことがあるよ。

実際に見に行ってみよう!!



お店の人が出てきてくれた!

何を売っているのかな。

お店の中も見てみたいな。

インタビューもしたいな。

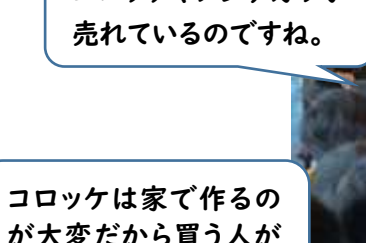
レーズンパンは何で小さいのですか。

前は和菓子屋さんだったんですか。



コロッケやメンチカツが売れているんですね。

商品は大田市場から運ばれてくるんだ。



コロッケは家で作るのが大変だから買う人が多いのかな。



すぐろくの目に調べたことを書こう

1日に100人もお客さんが来ます。

写真も入れて絵本にまとめました。

